

導入事例 Case 7

セントラル空調システム

新潟県 新潟市 Sさま邸

Q値:1.70W/m²・K C値:0.46cm²/m² 暖房面積:171.66m²

C値0.46cm²/m²の高気密で、断熱性能をさらに向上。

Sさま邸ではリビング階段や吹き抜け、ロフトなど、開放的な設計となっています。理想的な間取を実現しても、住まいの基本性能次第で住み心地を損ねてしまうこともあります。大切なのは断熱、冷暖房、オール電化のトータルコーディネート。その正確な設計と施工がポイントです。

ご施主さまより

MESSAGE

高断熱・高気密住宅とセントラル空調システムでライフスタイルにも変化が。



新潟の冬は長くて寒いので、新居は「暖かい家」が前提でした。以前は、局所暖房のため、リビングを一步出ると“寒い”感じでしたが、今はどこでも暖か。それでいて、電気代は抑えられています。完全外断熱で、開口部にはオール樹脂サッシ、Low-Eペアガラスを採用しているため、大雪の日でも結露や窓のくもりもなし。今までの暮らしとは、別世界という気がします。



1台で全館冷暖房を実現する空調システム。



冷温風吹き出し口。



すみずみまで暖かな30帖のLD。

ヒートポンプ 暖房

Q & A

家族にやさしく、環境にやさしいヒートポンプ暖房を皆さまにもっと知っていただくために、疑問・質問にお答えします。

Q メンテナンスは必要ですか？

A ホコリに注意する程度で基本的には必要ありません。

毎日のお手入れは必要ありませんが、長く、安心してお使いいただくために定期的な点検をおすすめします。



Q 停電が心配だけど、大丈夫ですか？

A 停電の少ない安定的な電力供給に取り組んでいます。

東北電力管内におけるお客さま一戸あたりの年間平均停電回数0.13回、一回あたりの停電時間も18分。東北電力では、日々安定供給の確保に努めています。

※ 2008年実績 東北電力調べ



Q 既設住宅でも導入できますか？

A 導入できますが、住宅性能により快適さは左右されます。

メリットを最大限に引き出すためには熱の逃げにくい高断熱・高気密住宅が前提となりますので、そうでない住宅は断熱改修などの工事が必要となります。



Q カタログなどに載っているAPFとはなんですか？

A 年間のエネルギー消費効率を表すものです。

例えばAPF3.0の場合、1の電気エネルギーを投入すると、その3倍の熱エネルギーを使うことができます。APFの値が高い製品が、省エネ性に優れています。

※APF(Annual Performance Factor)

年間エネルギー消費効率 = $\frac{1 \text{年で使用するエネルギー消費に係る熱量}}{1 \text{年間で必要な消費電力量}}$ (APF)